

**視点2** 道徳科学習指導案

主題名	役割と責任の自覚 (内容項目 C よりよい学校生活、集団生活の充実)
教材名	監督がくれたメダル (出典 廣済堂あかつき『中学生の道徳 自分をのぼす3』)
ねらい	自己の所属する集団の意義や自らの役割を理解し、責任を自覚して集団生活の充実に努める道徳的実践意欲を培う。
主題設定の理由	人間は、誰もが目的や立場の異なる複数の集団に属している。その成員として属する集団の意義を理解し、それぞれがその役割と責任を果たしていくことが、集団の向上、さらには一人一人の自己実現につながる。本学級の生徒は素直な生徒が多く、学級全体で協力して学校生活を送っている。しかし、一人一人が自分本位な主張をし、意見がまとまらないことが時々ある。学校行事等との関連を図りながら、集団における自己の役割と責任を見つめて自らのよさを発揮していけるようにしていきたい。 本教材の筆者は、監督から補欠として外野ノックを命じられ、試合に出られない悔しさをノックにぶつけるが、ある日、自分と同じ立場で練習に来なくなったYへの説得を任されたことで考えを変えていく。筆者と同じような経験をもつ生徒も多く、共感しやすい教材であることから筆者の心の変容に着目して考えを深めていきたい。また、生徒が端末を用いて、筆者と同じような経験があるかないかを回答しながら授業を進めていくことで、生徒が道徳的価値を自分事として捉えられるようにしたり、自分たちの思考の変化を可視化して捉えられるようにしたりしていきたい。

本時の展開 ◎：中心的な発問

配時	学習活動 (主な発問と予想される生徒の発言)	指導上の留意点 ◆評価の視点 (方法)
3	1 「集団において、自分の役割が認められてうれしかったこと」についてのアンケート結果を確認する。(全体) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">これまで、自分の役割が認められてうれしかったことはあるか。ある場合、それはどんな場面か。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある…修学旅行の班長として、班員からねぎらってもらえたこと。</li> <li>ある…部活動のキャプテンとしての活躍を、コーチからほめてもらえたこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前にアンケートを取り、その結果を電子黒板で提示し、全体で共有する。</li> <li>座席をコの字型にし、お互いの発言をきちんと受け止め合えるようにする。</li> <li>自分の役割が認められてうれしかったことを想起させ、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>
7 6	2 教材を読み、話し合う。 教師の範読を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者が「もうノックをするのをやめたい」と思ったのはどうしてだろうか (個人→グループ→全体)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>出場メンバーの選手たちの様子を見ているのがつらかったから。</li> <li>誰も気持ちを理解してくれないと思ったから。</li> <li>裏方をするために3年間頑張ってきたわけではないと思ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を捉えやすいように、登場人物の関係性を黒板に提示し、読み聞かせる。</li> <li>自分の立場を受け入れられない筆者の思いに共感させる。</li> <li>「何かを途中でやめたい」と思った経験の有無について、端末のアンケート機能を使って回答させる。</li> </ul>
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者が「自分だって逃げ出したい」と思いながらも、Yを説得したのはどうしてだろうか (個人→グループ→全体)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分に与えられた仕事をするしかないと思ったから。</li> <li>やっぱりチームのためになりたいと思ったから。</li> <li>監督の思いを知ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の考えの違いが分かるように、発言の理由を尋ねたり、発言の内容を分類して板書に位置付けたりする。</li> <li>「何かから逃げ出したい」と思った経験の有無について、端末のアンケート機能を使って回答させる。</li> </ul>
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者がノックを丁寧に打つようになったのはどうしてだろうか (個人→グループ→全体)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノックを打つことでチームの勝利に貢献することが自分の役割だと思うから。</li> <li>自分もチームの役に立てていることが分かってきたから。</li> <li>Yの姿を見て、自分も頑張ろうと思ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を責任もって果たそうとする筆者の思いについて話し合う。一つ目の発問で想像した気持ちから変化していることを捉え、多様な意見を引き出すようにする。</li> </ul>
10	◎ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">メダルを手渡され、一斉に拍手が沸き起こったとき、涙と一緒にどのような思いがあふれてきたのだろうか (個人→全体)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>試合には出られなかったが、チームの力になることができたんだな。</li> <li>いろいろあったが、本当に最高のチームだった。</li> <li>これから思うようにいかないことがあっても、最後まで頑張ってみよう。</li> <li>ここまで頑張ってこられたのは、監督やチームのみんなのおかげだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助け合い、支え合いながら集団を向上させていくことのよさについて、自分たちの経験と結び付けて、共感的に捉えられるようにする。</li> <li>道徳的価値に迫る生徒のワークシートを教師の端末で撮影し、電子黒板を用いて全体に紹介する。</li> </ul>
12	3 役割や責任の自覚について、本時で学んだことや考えたことを書く。(個人→全体) <ul style="list-style-type: none"> <li>〔部活動〕仮にメンバーに入れなかったとしても、チームの力になれるように、自分ができることを全力で行いたい。</li> <li>〔運動会〕自分は応援団長になりたいが、もしなれなかったとしても、自分の団のために力を尽くしたいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が所属する集団の中で、どのような役割や責任を果たしていきたいかについてワークシートに記入させる。</li> <li>これまでの自分自身を振り返りながら考えを深めることができるように促す。</li> </ul>
		◆ 集団生活を充実させることについて、自分自身との関わりの中で深めている。(発言、ワークシートの記述)

## 監督がくれたメダル

○「もうノックをするのをやめたい。」

- ・ 出場メンバーの様子を見ているのがつらい。
- ・ 自分の気持ちを誰も分かってくれない。
- ・ 裏方をするためにこれまで頑張ってきたわけではない。

**Yを説得する** 「自分だって逃げ出したい。」

- ・ 自分に与えられた仕事をするしかない。
- ・ やっぱりチームのためになりたい。
- ・ 監督の思いを知ったから。

←

- ・ 選手を陰から支えてほしい。
- ・ 出場メンバーだけが大切なのではない。

◎ノックを丁寧に打つようになった。

- ・ ノックを打つことが自分の大切な役割
- ・ チームが少しでも強くなってほしい。
- ・ Yを見て、自分も頑張ろうと思った。



監督がくれたメダル  
チームメイトの拍手

- ・ みんなが認めてくれていた。
- ・ いろいろあったが、本当に最高のチームだった。
- ・ ここまで頑張ってこられたのは、監督やみんなのおかげだ。